

寄付一覧



- ・伊豆今井浜東急ホテル様
- ・全国シャンメリー協同組合様
- ・日本出版販売株式会社様
- ・エイアンドエイ様
- ・公益財団法人毎日新聞東京社会事業団様
- ・パナソニック環境エンジニアリング
- ・(株)人事総務グループ 村井美晃様
- ・野間伸一様
- ・小林ヒサ子様
- ・日本鏡餅組合様
- ・ほっともっと様
- ・(株)ザメディアジョン 山近社長様
- ・学習ボランティア 紀藤信哉様
- ・散髪ボランティア 野口伏美様 伊石裕司様
- ・野田秀子様
- ・太田智様
- ・小林義彦様



12月26日にみんなで富士急ハイランド!!
快晴で楽しい1日になりました!

編集後記



寒さが一層強さを増し、手袋やマフラーがかかせない日々が到来しています。寒い寒いと言いながら学校から帰って来た子どもたちを暖かく迎える事が出来るように、子どもたちが生活している空間は過ごしやすい温度に調整をして体調面に気を付けています。

(児童指導員 大高英也)

施設交流



- ・読み聞かせボランティア きらめき様
- ・(株)ザメディアジョン 山近社長様
- ・学習ボランティア 紀藤信哉様
- ・散髪ボランティア 野口伏美様 伊石裕司様



お知らせ

帰省期間

3月18日～4月3日
※予定になりますので
変更の場合が御座います。



帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しておりますので、宜しくお願い致します。尚、予定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性があります。ご承知のほどお願い申し上げます。また各ご家庭におきましても、感染対策の徹底を宜しくお願い致します。

令和4年度 学園だより 第566号



編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL http://kawana7.ec-net.jp

冬の寒さに負けずに

施設長 竹居昭子

「おりたちて 今朝の寒さを 驚きぬ 露しとしとと 柿の落葉深く」(意味は、朝庭に降りて、外の空気の冷たさに驚いた。露を含んだ柿の落葉が深く降り積もっている。秋はこんなにも深まったのだな。)作者は伊東佐千夫です。朝夕の寒暖差も多くなりました。時間に追われる毎日ですが、読書や芸術に触れることで少しでも人としての奥行きを深める事が出来ると良いと思います。

子どもたちには、いろいろな体験をさせてあげたい、コロナ禍においての制限はまだありますが、少しずつ行事や活動ができるようにと計画を進めているようです。大舎制からユニットとなり、全体行事ではなく、ユニットごとで子どもと職員と話し合い、行事に取り組むことを進めています。子どもたちも「楽しむ」機会を多くしてあげたいと思います。職員も一緒に思いっきり「楽しむ」ことができるように取り組んでほしいと思います。

秋は過ごしやすい季節であり、秋の魅力に大いに触れてほしいと思います。自然に触れてゆったりとした時間を過ごすことも子どもたちにとってよい経験となるのではないかと思います。「楽しむ」活動を通して子どもたちの成長を期待しています。

ご報告として、隣接する静岡県立東部特別支援学校川奈分校の解体工事が進んでいます。令和5年1月までを予定されています。臨海学園と川奈分校が大きく変化していきますが、「今、できることとすべきことをコツコツと取り組む」を継続していきます。また退園生へ定期的に施設整備や解体工事の様子と学園周りの季節の移り変わる様子を写真で伝えています。先日ある退園生から「竹居ちゃんの連絡ありがたいし、学園が新しくなった写真は良いけど季節の写真は仕事が忙しくて感じている余裕はないんだよね。」とありました。それぞれ社会で



日本の心・おせち

お正月。おせちの寄付を頂き、ユニットに一つずつ豪華なお重が並びました。

幼児ユニットでは、お重の中から好きなおせち料理をバイキング形式で取り分け、みんなで食べることに。お重を開ける瞬間、子どもたちは身を乗り出します。子どもたちの視線を集めながらお重を開けると、中にはエビや色鮮やかなおせち料理が綺麗に詰められており、子どもたちは「すごい！」と声を上げていました。

おせち料理には一つ一つに意味があることを伝えます。「黒豆は、まじめに暮らせますように。栗きんとんは、お金に困りませんように。煮しめは、仲良くいられますように…」という説明をすると、子どもたちはおせちを食べながら、興味深く聞いていました。「これはどういう意味があるの？」と聞いてくる子もいて、大人も知らないものはその場で調べて伝えました。

日頃は手軽な料理でも、時には昔から伝わる日本の食文化に触れる機会をきちんと与えることも、食育の一つとしてとても大切なことだと実感しました。

彼らには少し大人な味の物もありましたが、色々な種類を味わい、お正月を堪能することが出来ました。

(保育士 山田琴音)



冬の一大イベント

12月に入り子どもたちから「クリスマスが楽しみ！」「プレゼントが待ち遠しいから早く来て欲しい!!」等楽しそうな声をよく耳にしていました。事前にユニット内にはクリスマスツリーが準備され、子どもたちが指折り数えながら飾り付けをしている姿はキラキラしていました。

クリスマスイブには、子どもたちが希望したケーキやシャンメリーでお祝いをし、チキンも食べて幸せいっぱいな表情を浮かべていました。

クリスマス当日には枕元に置いてあるプレゼントを見て嬉しそうにしている姿や、子ども同士で見せ合い盛り上がっている様子がありました。寄付で頂いたプレゼントを受け取るとより一層の笑顔になり、こちらまで嬉しくなりました。

普段とはまた違った笑顔や様子が垣間見れ、とても良いクリスマスになったと感じました。

(保育士 土屋菜織)



(2)

日本一の絶叫体験

12月26日、快晴の中、富士急ハイランドへ外出。ここ数年は新型コロナウイルスの影響により川奈臨海学園全体での外出が出来ていませんでした。

久々の全体外出という事もあり、児童一人一人が笑顔を浮かべ、楽しんでいました。スケート場では、氷上を器用に滑る子や、手すりにつかまりながらもなんとかスケートをマスターしようとしている子等。個々がそれぞれ違った楽しみ方をしている姿が印象的でした。最初は上手く滑れない子も終盤には嘘のように上達している姿を見て、改めて若さってすごいなと感心しました。

中高生は、絶叫アトラクションや戦慄迷宮で思いっきり叫ぶなどして普段味わえないスリルを体験していました。昼食では、チーズホットドッグやポテト等自分好みの物を注文し、大きな口でほおぼる姿が見られ、とても満足そうでした。帰りの時間が近づくと、児童一人一人が気に入ったお土産を購入し、児童同士で何を買ったか見せ合っている姿があり、その表情は満足感で満ち溢れていました。新型コロナウイルスの影響でマスク着用等の制限はあったものの、とても充実した外出となっていた様でよかったです。

(保育士 加藤幸大)



寒くても元気!

1階の2つのユニット合同で、富士山子どもの国へ出発。行く前からそわそわしている子どもたちは、車の中でも「まだ着かないの?」と、何度も言いながら到着まで待ちきれない様子で微笑ましかったです。

いざ着いてみると、寒さに震えていた子どもたちでしたが、入り口のゲートを抜けると一気にテンションが最高潮に。子どもたちは、階段を駆け上がりその後は暑いと言って、上着を脱いではいしゃいでいました。

アスレチックを楽しむ子もいれば、動物と触れ合ったり人工雪で雪だるまを作ったり、雪の坂をそりで滑り降りたりして遊ぶことが出来ました。

お昼は子どもたちが楽しみにしていた、バーベキュー。外で焼きながら食べるお肉は、子どもたちをたちまち笑顔に変えていきました。沢山食べて沢山遊び1日かけて楽しんで、帰りの車中では全員ぐっすり夢の中へ。また1ついい思い出が作れたかなと感じました。

(児童指導員 長橋洸太)



(3)